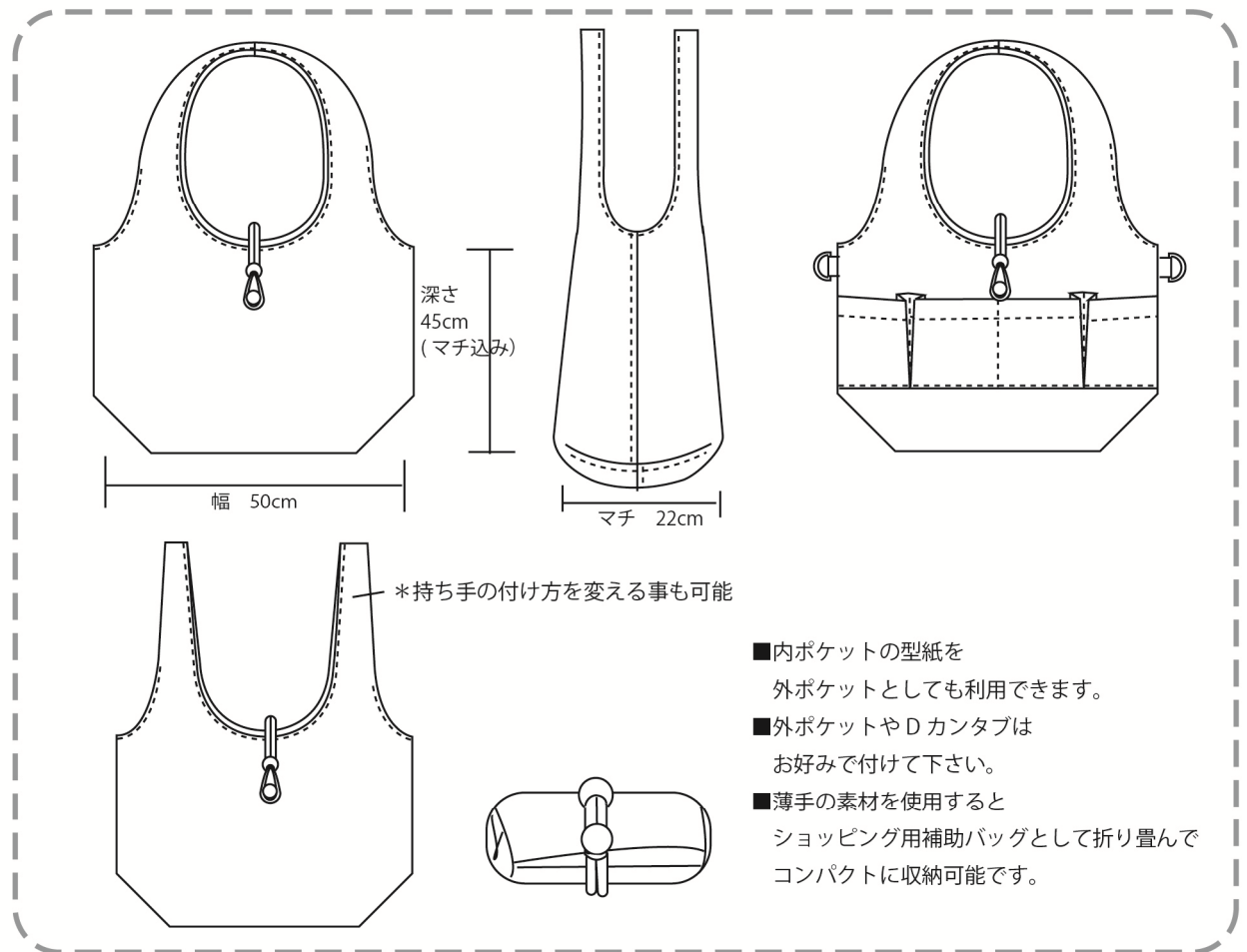


K's Bam Boo

BA-02 2Way バルーントートバッグ

(縫代付実物大型紙)



- 内ポケットの型紙を
外ポケットとしても利用できます。
- 外ポケットやDカンタブは
お好みで付けて下さい。
- 薄手の素材を使用すると
ショッピング用補助バッグとして折り畳んで
コンパクトに収納可能です。

■材料■

表地 (薄手～中肉厚生地) デニム、ツイル、ブロード、綿キャンバス、麻等

110cm 幅 (外ポケット付の場合) 1.4M (外ポケット無しの場合) 1.15M

裏地 (薄手の綿生地) 綿ブロード等 110cm 幅 0.65M

ボタン 15～20mm 2個 マジックテープ 20mm幅×40mm

ゴムひも 0.32m (ヘアーゴム 太)

ループエンド 1個

<2Way 仕様の場合>

内径 30mm Dカン 2個 (25mmでも可、ショルダー用テープ幅その他の資材の内径も同じに揃える)

ショルダー用テープ 30mm幅 1.3m ナスカン 内径 30mm 2個 移動カン 内径 30mm 1個

(アクリルテープ等)

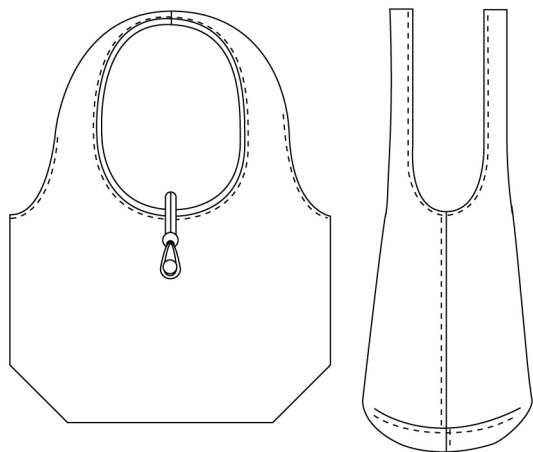
<http://ksbamboo.web.infoseek.co.jp/>

■お願い■

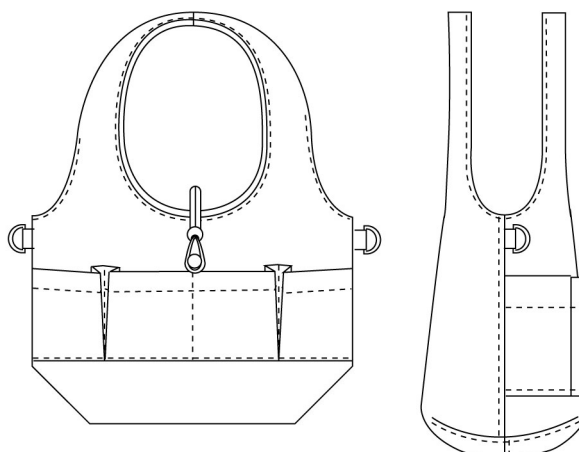
当店で販売している型紙及び説明書の著作権は K's Bam Boo が所有しています。

無断に再配布、再販売する事は禁止させて頂いております。

■バルレーントート (ノーマル)



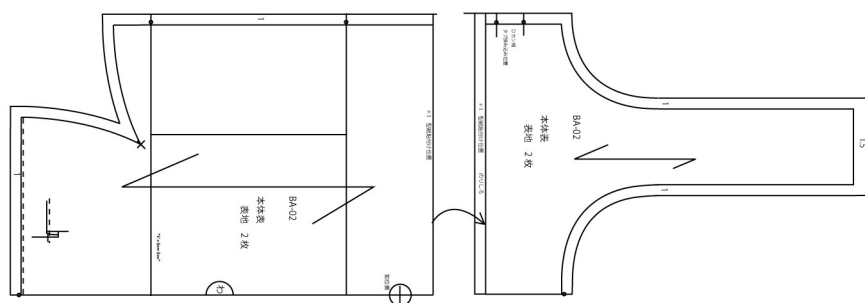
■2Way バルレーントート



*内ポケットの型紙を
表地のポケットとしても
利用できます。
*外ポケットやDカンタブは
お好みで付けて下さい。

■型紙の準備

表地本体袋布パーツの型紙を図のように貼り合わせる。

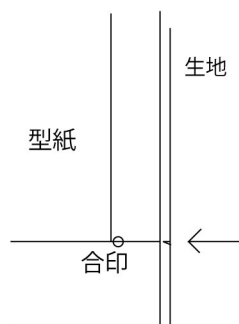
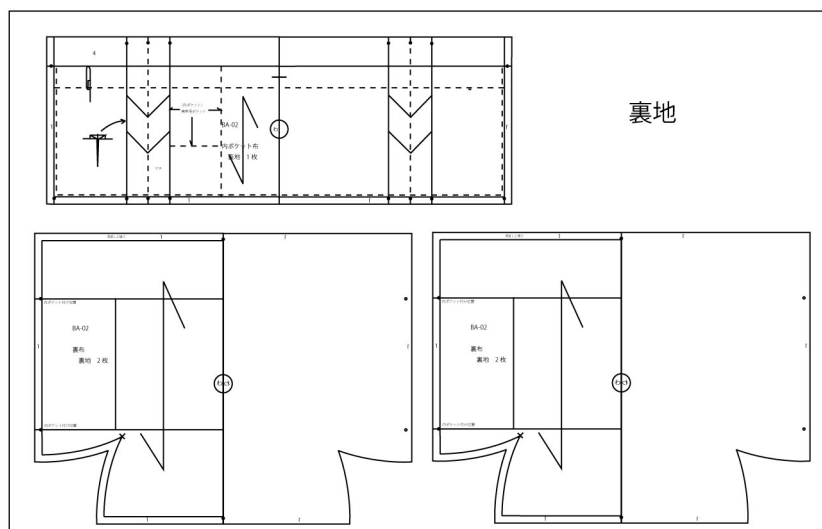
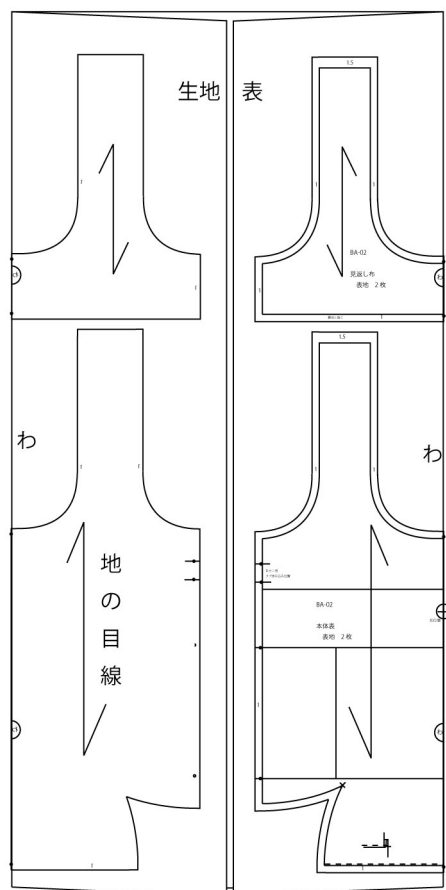


型紙の各パーツを切り抜きます。

1. 裁断

生地幅 110cm の場合の裁断例 (こちらは表地にポケットが付かない場合の裁断例です)

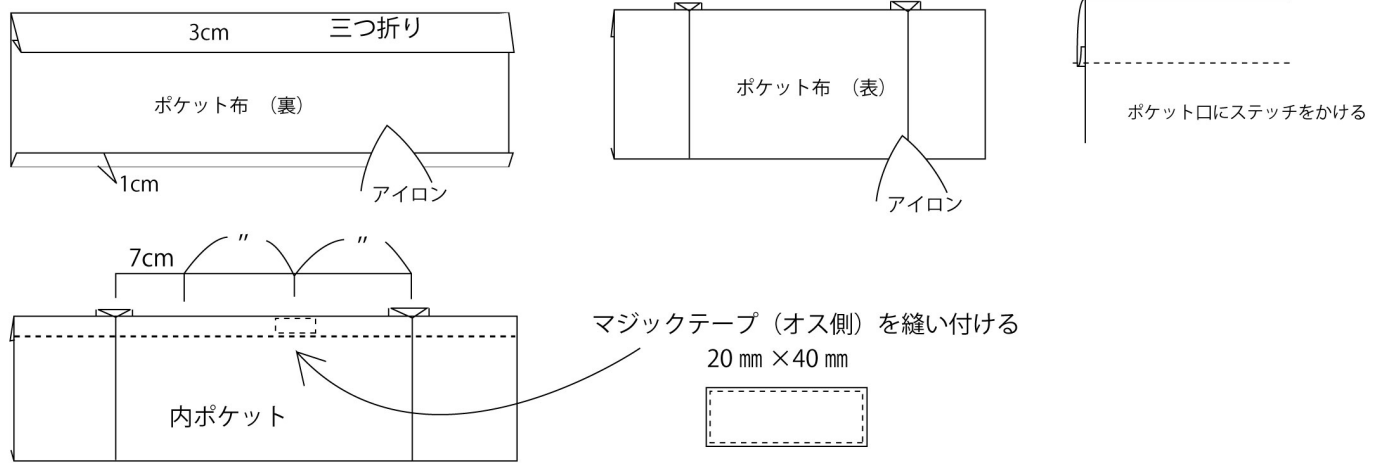
(注、生地幅や型紙のサイズにより置き方が変わります。)



*生地を裁断時は各パーツ、合印の位置に
ノッチを入れる
(2 ~ 3 mmの切り込み)

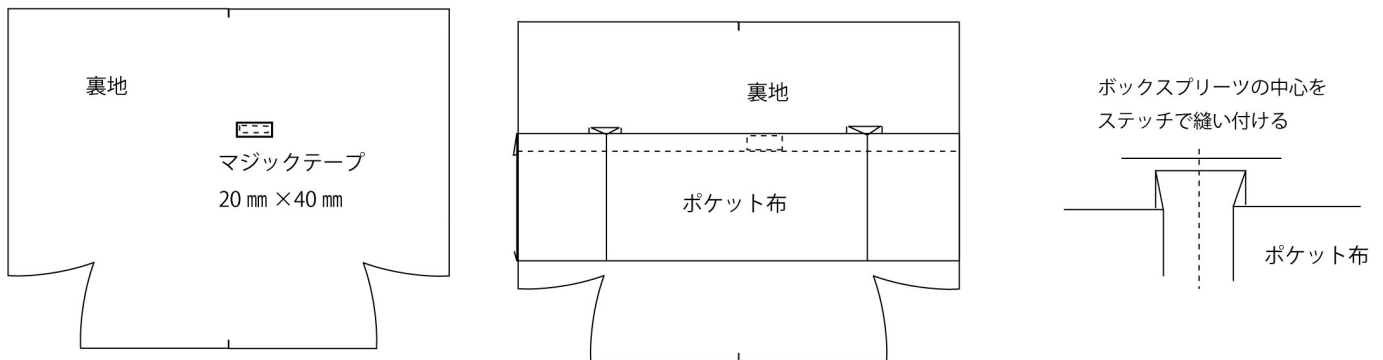
2. アイロン

*ポケット布にアイロンをかけて折り目を付けておく。

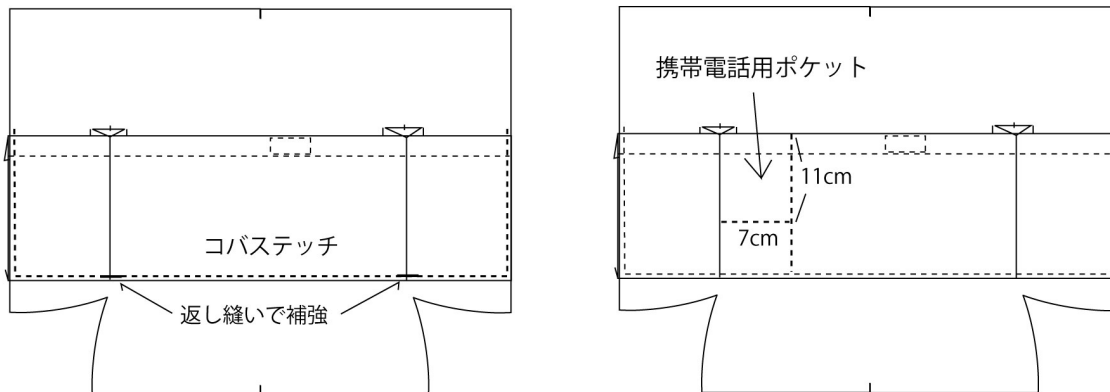


3. 内ポケットを裏地に縫いつけ

ポケット布のマジックテープが付く位置に当たるよう裏地本体側にもマジックテープ (メス側) を縫い付ける。

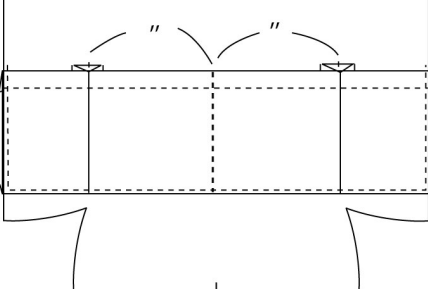


コバステッチでポケット布を縫い付ける。



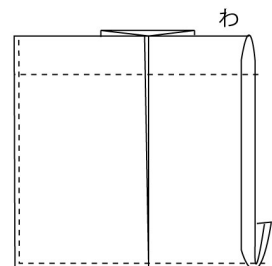
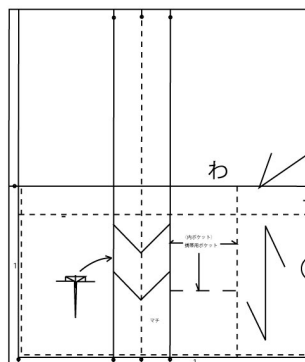
*本体表地に外ポケットを付ける場合
(内ポケットと同じ要領で付ける)

ポケット袋布の中心にもステッチをかける

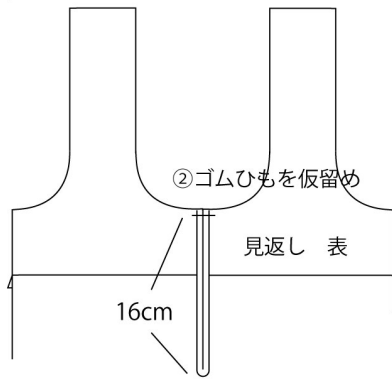


*ポケット布をしっかりさせたい場合

型紙を折り返し線で倍の大きさにし
ポケット口をわで取り 2 重にします。



①見返しと裏地を縫い合わせる

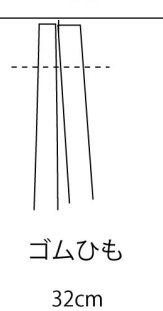


②ゴムひもを仮留め

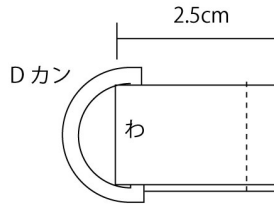
16cm

見返し 表

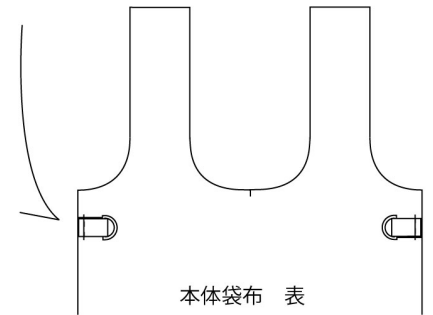
ミシンで仮留め



*D カンは 2Way 仕様にする場合のみ付けて下さい。

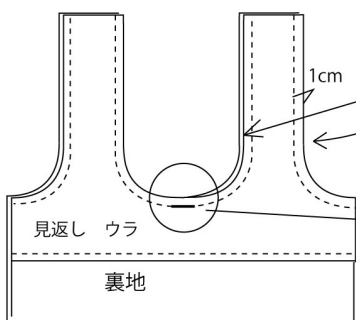
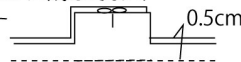
③5cm にカットしたアクリルテープを
2つ折りにして縫い留めておく。

④D カンを付けたタブをミシンで仮留めする

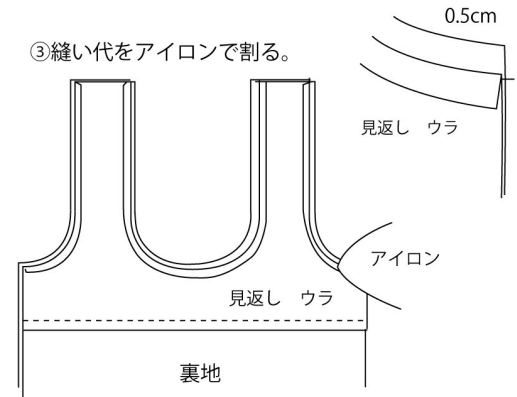


5. 本体と見返しの縫い合わせ

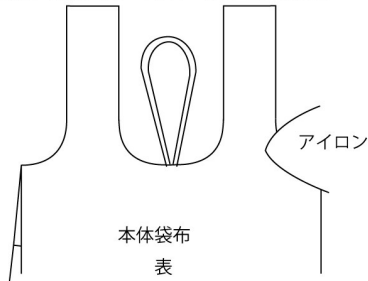
①1cm の縫い代で本体と見返しを縫い合わせる。

* ゴムヒモを挟み込んでいる位置は、
補強の為にしっかり返し縫いしておく。②縫い代を 0.5cm に
切り落とす* ゴムヒモ挟み込み位置の縫い代は
1cm に残しておく

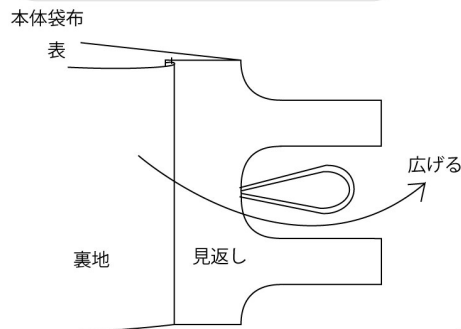
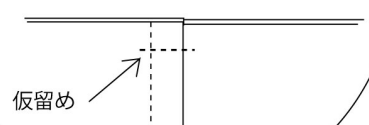
③縫い代をアイロンで割る。



④表に返してアイロンで形を整える。

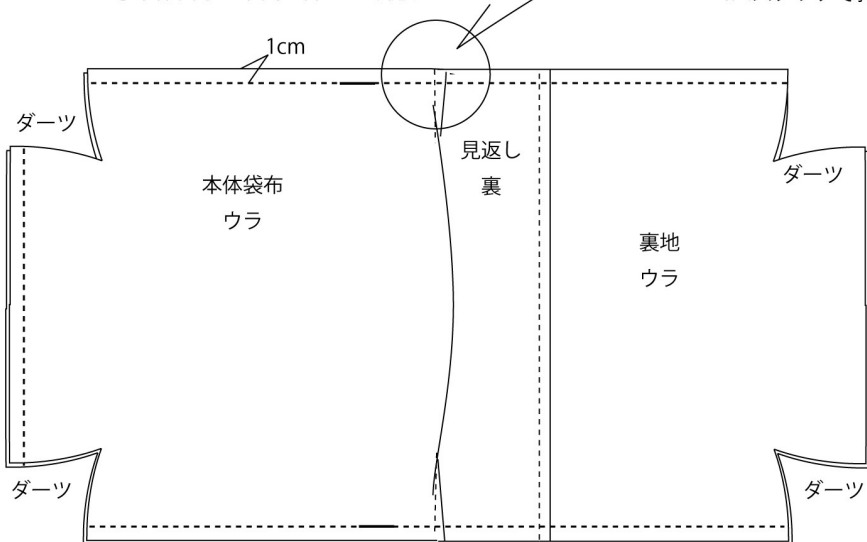


6. 見返しと裏地を縫い合わせる

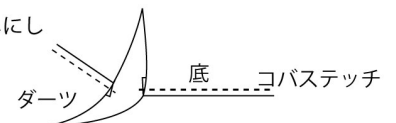
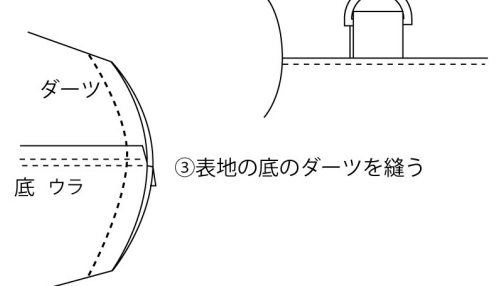
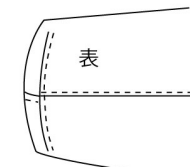
* パーツを縫い合わせる時に
まず、切替位置がずれないように
各箇所をミシンの返し縫いで
仮留めしておくとう良いです。

7. 本体袋布を縫い合わせる

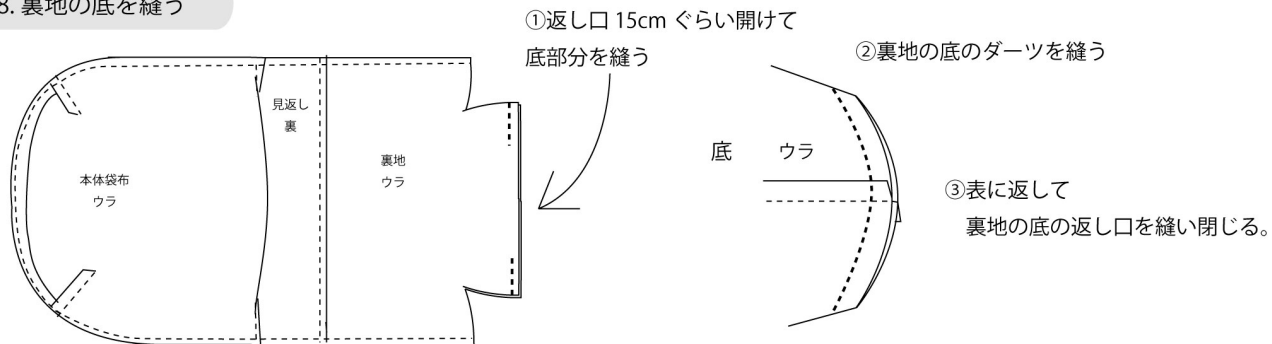
①本体袋布を中表に合わせて縫う

* D カンタブを挟み込んでいる位置は
しっかり返し縫いして補強しておく。

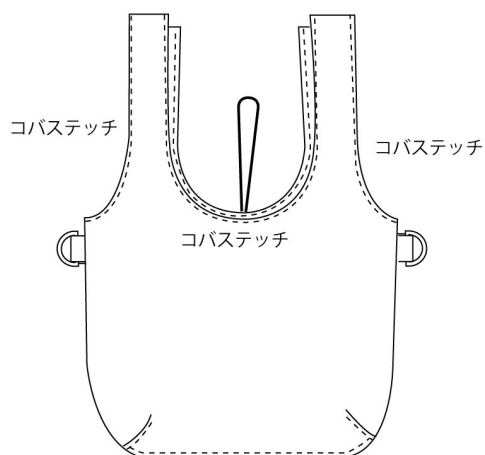
* 裏地の底はまだ縫いません。

②表地底の縫い代を片倒しにし
コバステッチで押さえる。* D カンタブ縫い代を本体袋の後ろ側になる側に倒して
コバステッチをかけます。④ダーツの縫い代を片倒しにし
コバステッチで押さえる。

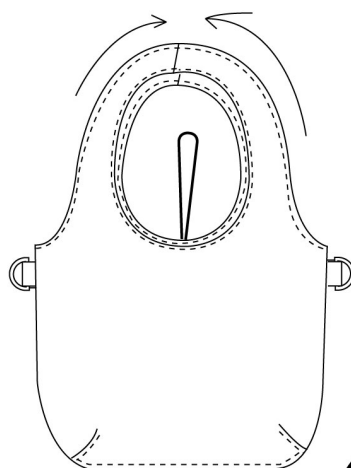
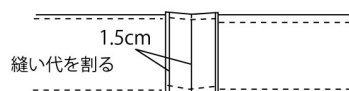
8. 裏地の底を縫う



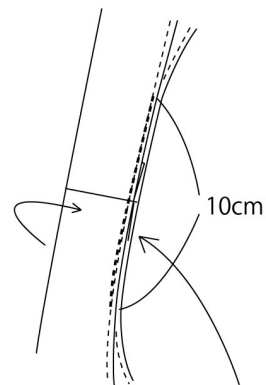
9. 表に返して持ち手部分にコバステッチをかける。



10. 持ち手を縫い合わせる。



持ち手を2ツ折りし
ミシンで押さえる。

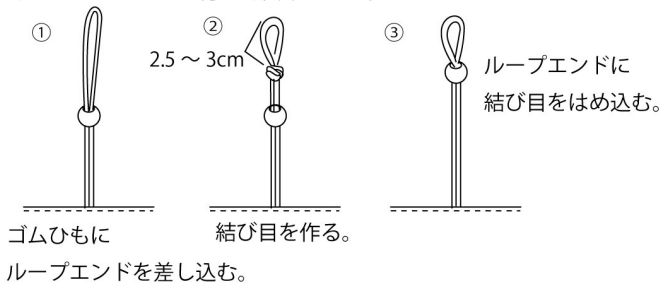


*縫い代端が見えないよう
内側に折り込んでおく。

11. 仕上げ

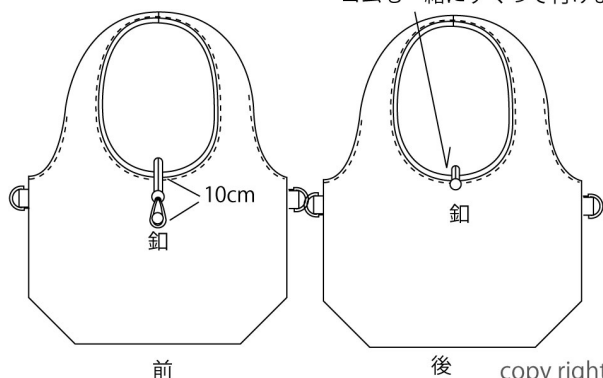


釦とループエンドを付けて出来上がり。



ゴムひもに
ループエンドを差し込む。

釦付け
ゴムも一緒にすくって付けます。



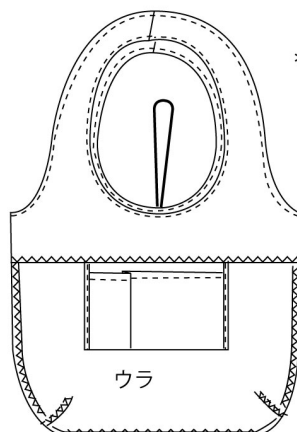
前

後

*持ち手の付け方を図のように変える事も可能



*裏地無しで作成する事も可能です。
縫い代はロック始末またはパイピング始末をして下さい。



*裏地無しの場合、内ポケットの型紙は
使用できません。
市販品バッグの内ポケット等参考に
アレンジして付けて下さい。